

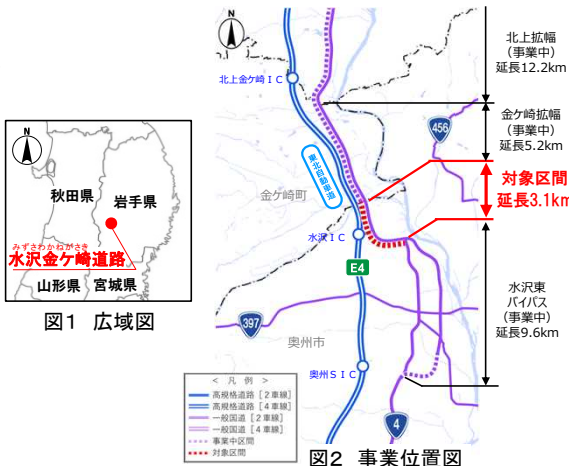
一般国道4号 水沢金ヶ崎道路における新規事業採択時評価

みずさわかねがさき

- ・水沢金ヶ崎道路の整備により、交通混雑を緩和し、交通の速達性を確保
- ・県南地域の工業団地をはじめとした産業集積地への円滑な物流経路を確保し、地域産業を支援
- ・救急医療施設への安全で円滑な搬送経路を確保し、救急医療活動を支援

1. 事業概要

- ・起 終 点: 岩手県奥州市水沢倉河字竈堂
～岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根土橋上
- ・延長等: 3.1km
(第3種第1級、4車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約150億円
- ・計画交通量: 約30,200台/日

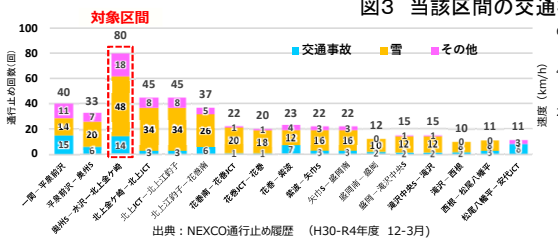
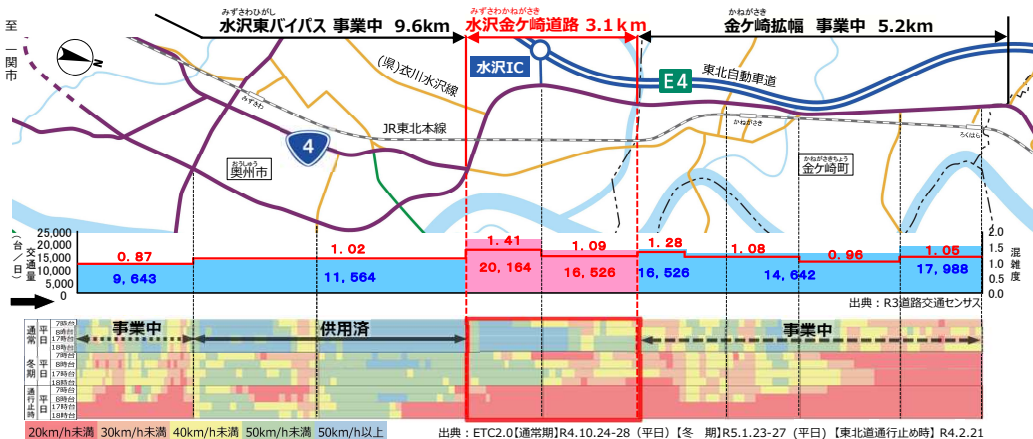


乗用車	小型貨物	普通貨物
約20,700台/日	約3,100台/日	約6,400台/日

2. 課題

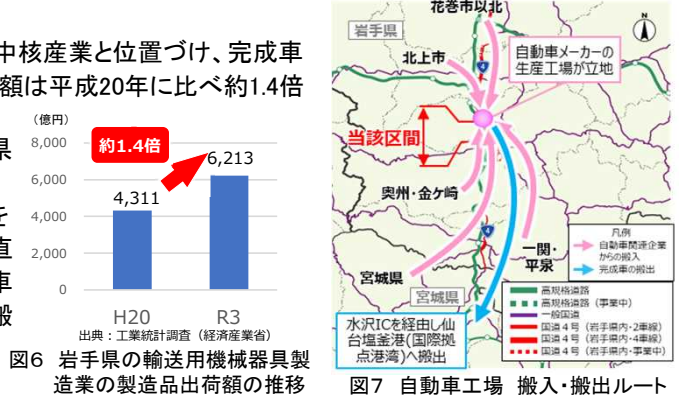
① 交通混雑による旅行速度の低下

- ・当該区間は前後区間と比べ交通量が多く慢性的に混雑が発生し、冬期は速度低下区間がさらに拡大。(図3)
- ・特に、当該区間と並行する東北自動車道は冬期の通行止めが多く、通行止め時は並行する国道4号に交通が集中することで、通常期に比べ約7割の速度低下が発生。(図3、図4、図5、写真1)



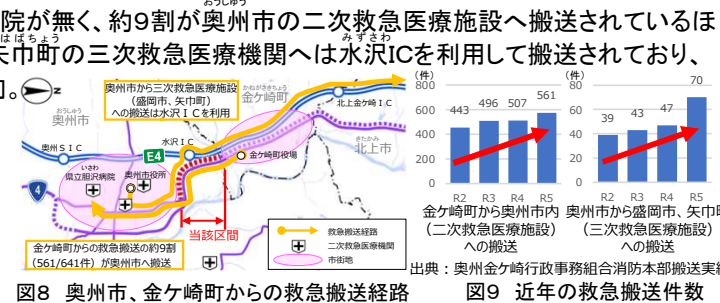
② 地域産業の円滑な物流

- ・岩手県は自動車関連産業を中核産業と位置づけ、完成車及び関連部品製造等の出荷額は平成20年に比べ約1.4倍に増加。(図6)
- ・付近の大手自動車工場は、県南地域の関連工場から当該区間を利用して部品の供給を受け、完成車は当該区間に直結する水沢ICから東北自動車道を利用して仙台釜蓋港へ搬出しており、円滑な物流の確保が課題。(図7)



③ 円滑な救急搬送の阻害

- ・金ヶ崎町には救急告示病院が無く、約9割が奥州市の二次救急医療施設へ搬送されているほか、奥州市から盛岡市、矢巾町の三次救急医療機関へは水沢ICを利用して搬送されており、搬送件数は近年増加傾向。(図8、図9)
- ・当該区間は、2車線で幅員が狭く、救急車両の追い越しが困難となるなど、円滑な救急搬送経路の確保が課題。



3. 整備効果

効果1 交通の速達性を確保【○】

- ・交通容量の確保により、東北自動車道が通行止めとなった場合でも一定程度の速達性を確保。
 - 旅行速度向上 通常時 : 【現況】37km/h ⇒ 【整備後】48km/h
 - 東北自動車道通行止め時: 【現況】14km/h ⇒ 【整備後】43km/h
- ※R3全国道路・街路交通情勢調査より【現況】暫定2車線
※将来交通量推計(R22)より【整備後】完成4車線

効果2 円滑な物流を確保し、地域産業を支援【○】

- ・交通混雑の解消により、対象区間付近の工業団地をはじめとした道路利用者の産業活動を支援。
 - 混雑度 【現況】1.41 ⇒ 【整備後】0.69(約5割減少)
- ※R3全国道路・街路交通情勢調査より【現況】暫定2車線
※将来交通量推計(R22)より【整備後】完成4車線

効果3 安全で円滑な救急医療活動を支援【○】

- ・二次救急医療施設への円滑な搬送経路を確保し、搬送時間を短縮。
 - 金ヶ崎町～二次救急医療機関(県立胆沢病院)への搬送時間
 - 【現況】18分 ⇒ 【整備後】16分(2分短縮)
- ※R3全国道路・街路交通情勢調査より【現況】暫定2車線
※将来交通量推計(R22)より【整備後】完成4車線

	B/C	EIRR※1	総費用	総便益
(参考)	1.9			
	2.8 [2%] ※3	8.5%	111億円※2	214億円※2
	3.4 [1%] ※3			

※1: EIRR: 経済的内部収益率
 ※2: 基準年(R5年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)
 ※3: 比較のために参考とすべき値として設定した社会的割引率

一般国道4号 水沢金ヶ崎道路における新規事業採択時評価

